

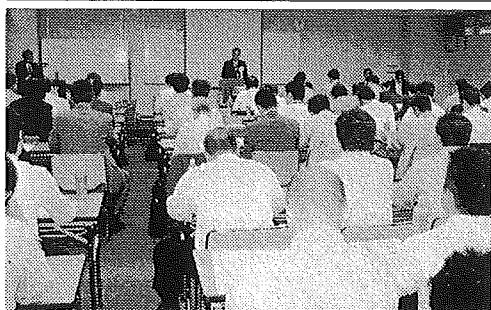
平成22年6月3日(木)

建設汚泥リサイクル講習会

土工協中部と愛知建協

日本土木工業協会中部支部（古厩孝文部長）と愛知県建設業協会（増永防夫会長）は1日、名古屋市千種区の市中小企業振興会館で、建設汚泥リサイクルに関する講習会を開いた（写真）。約80人が参加した。

冒頭あいさつした土工協中部支部環境委員会の坂見吉主



査は「4月1日から改正土壤汚染対策法が施行され、建設汚泥のリサイクルは進んできているが、最終処分場のひっ迫などを考えると喫緊の課題といえる。講習会を通じて認識を新たにしてほしい」と呼びかけた。

このあと、泥土リサイクル協会の野口真一事務局長が「建設汚泥についての基礎知識—高含水泥土の位置付け、

リサイクルを取り巻く環境について—処理方法、施工管理」をテーマに分かりやすく講演した。
次いで、同事務局の永松郁生氏が建設汚泥リサイクルの事例を紹介した。